

『水源地の森づくり』第4回植樹会を開催しました。

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンの推進施策の一つとして、森づくりによる「水源林の保全・育成」と森づくりの機運向上、上下流域の人々の交流と流域連携を目指して、ビジョン推進委員会主催で、NPO ドラゴンリバーの会員がドングリから育てた広葉樹の苗木を、ドラゴンリバー、漁協、県、市、発電事業者等参加者みんなで植えるという植樹会を、毎年、開催しています。

これまで3回、真名川ダム上流で開催してきましたが、11月1日(日)、今回はじめて九頭竜ダム上流において、第4回植樹会を開催しました。

当日は、早朝より、大野市の山本副市長はじめ、NPOドラゴンリバー交流会、奥越漁業協同組合、大野市漁協共同組合、九頭竜川中部漁業協同組合、福井森林管理署、福井県、電源開発(株)など、計 30 名の方にご参加いただき、紅葉も深まった九頭竜ダム湖畔の大野市下半原で、各自が持ち寄ったスコップなどで斜面の草の根を掘り起こして汗を流し、1 時間あまりかかってコナラなど約140本の苗木を植樹しました。

○主 催 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

○参 加 者 ・NPOドラゴンリバー交流会

・奥越漁業協同組合

・大野市漁業協同組合

・九頭竜川中部漁業協同組合

・林野庁福井森林管理署

・福井県奥越農林総合事務所

・大野市

・電源開発(株)

・近畿地方整備局河川部

・九頭竜川ダム統合管理事務所他

計30名

○植樹指導 林野庁福井森林管理署

○苗 木 コナラ、クヌギ、シラカシ 140 本

(NPOドラゴンリバー交流会会員がドングリから育てた苗木)

○道 具 スコップ、くわ、つるはしなどを各自が持参

